

3) CKD-MBD 関連

(11) 脳梗塞, 脳出血, 心筋梗塞, 四肢切断および大腿骨頸部骨折の既往の患者割合 (透析前リン濃度別) (図表47)



患者調査による集計

グラフ1 集計対象：216,429人
 グラフ2 集計対象：216,587人
 グラフ3 集計対象：216,875人
 グラフ4 集計対象：男性135,427人、女性83,338人
 グラフ5 集計対象：男性133,857人、女性82,365人

解説

透析前リン濃度と、脳梗塞、脳出血および心筋梗塞、ならびに四肢切断と大腿骨頸部骨折の既往との関連性を提示した。リン値が低い程、脳出血や脳梗塞さらに心筋梗塞の既往率は高い。四肢切断と大腿骨頸部骨折の既往率でも、リン値が低い程高い傾向であるが、四肢切断の既往率は、リン濃度が7.0mg/dL以上の高リン血症で男女とも上昇傾向があった。